

(様式第 9)

近大総発第 1 3 9 号
平成 2 1 年 / 〇 月 / 日

厚生労働大臣 長妻 昭 殿

開設者名 学校法人 近畿大学
理事長 世耕 弘

近畿大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 2 0 年度の業務に関して報告します。
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	1 5 1 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	438人	61人	448.0人	看護業務補助	89人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	10人	10人	10.7人	理学療法士	11人	臨床検査技師	92人
薬 剤 師	56人	9人	61.3人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	9人	そ の 他	0人
助 産 師	24人	0人	24.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	839人	30人	860.4人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	3人
准 看 護 師	3人	0人	3.0人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	42人
歯科衛生士	4人	2人	5.2人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	347人
管理栄養士	7人	2人	9.0人	診療放射線技師	48人	そ の 他 の 職 員	8人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	805.5 人	1.5 人	807.0人
1日当たり平均外来患者数	2256.7 人	61.8 人	2318.5人
1日当たり平均調剤数	4392.1 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD—DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV—DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマクグリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦韌帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支がん病変に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(I) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	159人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ペリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	88人	・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	13人
・多発性硬化症	74人	・ウェゲナー肉芽腫症	10人
・重症筋無力症	92人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	44人
・全身性エリテマトーデス	329人	・多系統萎縮症	33人
・スモン	9人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	60人	・膿疱性乾癬	14人
・サルコイドーシス	91人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	46人	・原発性胆汁性肝硬変	29人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	206人	・重症急性膵炎	16人
・特発性血小板減少性紫斑病	123人	・特発性大腿骨頭壊死症	39人
・結節性動脈周囲炎	34人	・混合性結合組織病	50人
・潰瘍性大腸炎	211人	・原発性免疫不全症候群	3人
・大動脈炎症候群	28人	・特発性間質性肺炎	23人
・ビュルガー病	17人	・網膜色素変性症	120人
・天疱瘡	18人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	48人	・原発性肺高血圧症	5人
・クローン病	62人	・神経線維腫症	20人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	22人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	344人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	5人
・アミロイドーシス	9人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	67人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	6人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	50		
剖検の状況	剖検症例数	78 例	剖検率 11.1 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究	宮崎 俊一	循環器内科	600,000円	補 委 厚生労働省
医療連携モデルを基盤とした総合診療系医と領域別専門医の必要算定法と専門医制度の検討	宮崎 俊一	循環器内科	1,000,000円	補 委 厚生労働省
慢性心不全と慢性腎臓病、新規共通分子メカニズムの解明	岩永 善高	循環器内科	2,000,000円	補 委 武田科学振興財団 報彰基金研究助成
糖尿病のゲノム解析と成因分類に基づくテーラーメイド医療の構築に関する臨床研究	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	6,000,000円	補 委 医薬基盤研究所
1型糖尿病・2型糖尿病に共通する遺伝子基盤の同定ならびに機能解析	能宗 伸輔	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,900,000円	補 委 日本学術振興会 平成20年度科学研究費補助金(基盤C)
1型糖尿病の早期発見・治療を介した患者予後改善に資する発症予知システムの構築	馬場谷 成	内分泌・代謝・糖尿病内科	900,000円	補 委 文部科学省 平成20年度科学研究費補助金(若手研究B)
1型糖尿病の遺伝素因:急性発症典型例・劇症型・緩徐進行型の比較解析	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	2,568,000円	補 委 平成20年度私立大学等経常費補助金特別補助(高度化の推進)
自己免疫性甲状腺疾患におけるサイトカインの病因的意義の検討	大野 恭裕	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,070,000円	補 委 平成20年度私立大学等経常費補助金特別補助(高度化の推進)
甲状腺自己免疫疾患における脾臓自己免疫合併の病態と背景に関する研究	守口 将典	内分泌・代謝・糖尿病内科	204,000円	補 委 平成20年度私立大学等経常費補助金特別補助(高度化の推進)
1型糖尿病の疾患感受性遺伝子の同定と発症予知・予防への応用	能宗 伸輔	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,500,000円	補 委 平成20年度 医学研究助成 大阪難病研究財団
特発性造血障害に関する調査研究	金丸 昭久	血液内科	1,000,000円	補 委 厚生労働科学研究費補助金難知性疾患克服研究事業
難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究	金丸 昭久	血液内科	500,000円	補 委 厚生労働科学研究費補助金がん臨床事業
糖鎖の関連するニューロパチーの分子病態の解析	楠 進	神経内科	7,000,000円	補 委 厚生労働省
免疫性疾患に関する調査研究	楠 進	神経内科	15,000,000円	補 委 厚生労働省
スモン患者 後遺所見に関する調査研究	楠 進	神経内科	700,000円	補 委 厚生労働省

難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発	楠 進	神経内科	750,000円	補 委	厚生労働省
免疫性神経疾患における「ジシアロシル基をもつ糖タンパク」に対する免疫反応の解析	楠 進	神経内科	6370000円	補 委	独立行政法人日本学術振興会
中枢神経脱髄疾患に対する抗血小板を用いた新規治療薬開発の研究	宮本 勝一	神経内科	2,210,000円	補 委	独立行政法人日本学術振興会
原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	19,672,000円	補 委	厚生労働省
限局型小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	1,000,000円	補 委	厚生労働省
呼吸器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	中川 和彦	腫瘍内科	1,300,000円	補 委	厚生労働省
再発小細胞肺癌に対する標準的治療法の確立に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	1,000,000円	補 委	厚生労働省
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	4,000,000円	補 委	厚生労働省
原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	岡本 勇	腫瘍内科	700,000円	補 委	厚生労働省
進展型小細胞肺癌に対する予防的全脳照射のランダム化比較第Ⅲ相試験	岡本 勇	腫瘍内科	800,000円	補 委	厚生労働省
成人気管支喘息患者の重症度等に応じた健康管理支援, 保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究	東田 有智	呼吸器・アレルギー内科	1,200,000円	補 委	環境再生保険機構
気道炎症、気道リモデリングに対する吸入モンテルカストの影響	東田 有智	呼吸器・アレルギー内科	1,800,000円	補 委	萬有製薬株式会社
好酸球と脂質メディエーターの関連	東田 有智	呼吸器・アレルギー内科	700,000円	補 委	サノフィ・アベンティス
気管支喘息の病態解明	東田 有智	呼吸器・アレルギー内科	2,500,000円	補 委	ノバルティスファーマ
脳神経疾患、自己免疫疾患とレチノイド	船内 正憲	腎臓・膠原病内科	800,000円	補 委	乙卯研究所

計 15

[20委-3] 精神疾患の客観的補助診断法の標準化と科学的根拠に基づく治療反応性の判定法の確立	白川 治	精神神経科学	1,400,000円	補 委	精神・神経疾患研究委託費 国立精神・神経センター
[H17-こころ-戦略-030] 自殺対策のための戦略研究	人見 佳枝	精神神経科学	800,000円	補 委	厚生労働科学研究費補助金 財団法人精神神経科学振興財団
シクロスポリン療法による出生後残存未熟糸球体の成熟化障害に関する研究	柳田 英彦	小児科学	600,000円	補 委	(財)森永奉仕会
テレビ会議システムを用いたてんかん診療ネットワークの構築	加藤 天美	脳神経外科	1,600,000円	補 委	てんかん治療研究振興財団
バイオメディカルフォトニックLSIの創成:機能的脳疾患医療応用の検討	加藤 天美	脳神経外科	19,500,000円	補 委	科学技術振興機構
皮質脳派信号処理に基づく運動・言語の脳-コンピュータインタフェースの開発	加藤 天美	脳神経外科	7,000,000円	補 委	科学技術振興機構
悪性脳腫瘍のSurvivin発見に関する研究	奥田 武司	脳神経外科	300,000円	補 委	大阪府対ガン研究助成奨励金
関節軟骨移植の力学的環境に関する研究	福田 寛二	リハビリテーション科	260,000円	補 委	文部科学省
組織幹細胞を用いた軟骨再生医療の基礎研究	寺村 岳士	高度先端総合医療センター(再生医療部門)	1,599,000円	補 委	文部科学省
陽極酸化ハイドロキシアパタイト含有被膜チタンの骨伝導材料としての有用性	浜西 千秋	整形外科	5,000,000円	補 委	医工連携
先端医療診断法を活用した医療技術のIT・ロボット化	福田 寛二	リハビリテーション科	2,200,000円	補 委	医工連携
腎癌に対するペプチドを用いたテーラーメイド癌ワクチン療法の開発	植村 天受	泌尿器科	71,501,000円	補 委	独立行政法人日本学術振興会
前立腺癌に対する、次世代分子治療戦略	田中 基幹	泌尿器科	1,170,000円	補 委	独立行政法人日本学術振興会
前立腺癌患者に対する癌ワクチン療法に応用できる腫瘍関連由来ペプチドの同定	南 高文	泌尿器科	3,770,000円	補 委	独立行政法人日本学術振興会
腎移植時の阻血灌流障害に対する抗酸化剤の有用性について	林 泰司	泌尿器科	1,500,000円	補 委	財団法人大阪難病研究財団

計 15

角膜内潜伏感染ヘルペスウイルスの動態	下村 嘉一	眼科	1,500,000円	補委	文部省科学研究費補助金
角膜上皮創傷治癒過程におけるCTGFの役割	杉岡 孝二	眼科	1,500,000円	補委	大阪難病研究財団
角膜上皮創傷治癒過程におけるconnective tissue growth factor(CTGF)の役割	杉岡 孝二	眼科	470,000円	補委	財団法人大阪アイバンク
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立のための臨床試験	西村 恭昌	放射線科(放射線腫瘍学部門)	400,000円	補委	文部科学省
放射線治療期間の短縮に関する多施設共同臨床試験の確立に関する研究	西村 恭昌	放射線科(放射線腫瘍学部門)	500,000円	補委	厚生労働省
放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究	西村 恭昌	放射線科(放射線腫瘍学部門)	500,000円	補委	厚生労働省
高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療	西村 恭昌	放射線科(放射線腫瘍学部門)	700,000円	補委	厚生労働省
TNS発症への脊髄下行性抑制系の関与について	岩元 辰篤	麻酔科	1,500,000円	補委	大阪難病研究財団
回収処理による赤血球の形態学的,機能的変化とグルコースの添加の効果	上原 啓司	麻酔科	1,436,000円	補委	私立大学経常補助金特別補助
局所麻酔薬の腰髄くも膜下投与による脊髄下行性抑制系への抑制作用	冬田 正樹	麻酔科	1,374,000円	補委	私立大学経常補助金特別補助
天然高分子と合成高分子の複合化技術を導入した自家移植もでのるにおける軟骨再生	磯貝 典孝	形成外科	4,030,000円	補委	文部科学省科学研究費
組織幹細胞を用いた軟骨再生医療の基礎的研究	寺村 岳士	高度先端総合医療センター(再生部門)	1,599,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
緊急事態対応医学の体系化とシステム整備:院内救急からテロ・災害時の地域連携まで	嶋津 岳士	ER部	2,600,000円	補委	日本学術振興会
高規格情報伝達技術による連携的地域情報システム開発	栗原 敏修	ER部	2,000,000円	補委	全日本社会貢献団体機構
抗糖尿病薬の心不全発症、進展抑止及び心不全改善効果の検討	浅沼 博司	ER部	1,000,000円	補委	医科学応用研究財団

計 15

合計 60 件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ.J 73(1);139-144.	Significant association between neutrophil aggregation in aspirated thrombus and myocardial damage in patients with ST-segment elevation acute myocardial infarction.	Arakawa K, Miyazaki S, et.al.	循環器内科
Circ.J. [2009]	Improved Long-term Prognosis of Elderly Women in the Era of Sirolimus-Eluting Stents.	Kataoka Y, Miyazaki S, et.al.	循環器内科
Circulation, 119(7); 987-995.	Antiplatelet therapy and stent thrombosis after sirolimus-eluting stent implantation.	Kimura T, Miyazaki S, et.al.	循環器内科
Am J Cardiol 103(3); 322-327.	Combined prognostic utility of white blood cell count, plasma glucose, and glomerular filtration rate in patients undergoing primary stent placement for acute myocardial infarction.	Kosuge M, Miyazaki S, et.al.	循環器内科
Circ.J 72(4):521-525.	Impact of body mass index on in-hospital outcomes after percutaneous coronary intervention for ST segment elevation acute myocardial infarction.	Kosuge M, Miyazaki S, et.al.	循環器内科
Circ.J 72(3):415-419.	Impact of metabolic syndrome on the long-term survival of patients with acute myocardial infarction: potential association with C-reactive protein.	Takeno M, Miyazaki S, et.al.	循環器内科
Nephrol Dial Transplant.23:2324-2328.	Decreased coronary flow reserve in haemodialysis patients.	Miizuma S, Iwanaga Y, et.al.	循環器内科
Clin Exp Hypertens.30:640-647.	The cutoff value of aldosterone-to-renin ratio for the diagnosis of primary aldosteronism in patients taking antihypertensive medicine.	Miizuma S, Iwanaga Y, et.al.	循環器内科
Nephrol Dial Transplant.24(2):597-603.	Plasma B-type natriuretic peptide levels reflect the presence and severity of coronary artery disease in chronic hemodialysis patients.	Miizuma S, Iwanaga Y, Miyazaki S, et.al.	循環器内科
最新狭心症診療の実際	糖尿病を合併する狭心症患者の治療	宮崎俊一	循環器内科
J Clin Endocrinol Metab.	Association of Type 1 Diabetes with Two Loci on 12q13 and 16p13 and the influence of Coexisting Thyroid Autoimmunity in Japanese	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科
J Clin Endocrinol Metab.	Genetic Association between the Interleukin-2 Receptor- α Gene and Mode of Onset of Type 1 Diabetes in the Japanese Population	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科
Ann N Y Acad Sci.	Molecular scanning of the gene for thioredoxin, an antioxidative and antiapoptotic protein, and genetic susceptibility to type 1 diabetes.	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科
Ann N Y Acad Sci.	Congenic mapping of the MHC-linked susceptibility to type 1 diabetes in the NOD mouse: at least two genes contribute to the Idd16 effect.	廣峰 義久	内分泌・代謝・糖尿病内科
Rev Diabet Stud.	Genetic Basis of Type 1 Diabetes: Similarities and Differences between East and West.	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科

計 15

J Clin Pathol	therapy with HGF cDNA in patients on peritoneal di	Y Maeda	血液内科
Leukemia Research	Hypersensitivity of Ph-positive lymphoid cell lines to rapamycin: Possible clinical application of mTOR inhibitor	Chikara Hirase	血液内科
臨床血液	舌下神経麻痺と大後頭神経痛を初発症状としたびまん性大細胞型B細胞リンパ腫	金井 良高	血液内科
Exp Neurol	Apoptosis of primary sensory neurons in GD1b-induced sensory ataxic neuropathy.	高田 和男	神経内科
Glycobiology	Roles of complex gangliosides in the development of experimental autoimmune encephalomyelitis.	宮本 勝一	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Ganglioside complexes containing GQ1b as targets in Miller Fisher and Guillain-Barre syndromes.	楠 進	神経内科
Neurology	GD1b-specific antibody induces ataxia in Guillain-Barre syndrome.	楠 進	神経内科
Neurology	GM1/GalNAc-GD1a complex : A target for pure motor Guillain-Barre syndrome.	楠 進	神経内科
J Neurol Sci	Upregulation of water channel aquaporin-4 in experimental autoimmune encephalomyelitis.	宮本 勝一	神経内科
Neuroreport	Selective phosphodiesterase-3 inhibitor cilostazol ameliorates experimental autoimmune encephalomyelitis.	市橋 朱里	神経内科
臨床神経学	臨床・画像的に、変異型Creutzfeldt-Jakob病との鑑別が問題となったGerstmann-Straussler-Scheinker症候群の1例	金田 明子	神経内科
臨床神経学	急性散在性脳背髄炎様病態を続発した、肺炎球菌性髄膜炎の1例	市橋 朱里	神経内科
臨床神経学	パリスムをともない免疫グロブリン療法が効を奏したBiikerstaff 型脳幹脳炎・軸索型Guillan-Barre 症候群合併例	楠 進	神経内科
臨床神経学	抗GM2抗体活性のあるIgMκ蛋白とIgMλ 抗GM1抗体をとまなう多巣性運動性ニューロパチー	楠 進	神経内科
Brain and Nerve	抗アクアポリン4抗体陽性の高齢発症反復性背髄炎	宮本 勝一	神経内科

計 15

神経内科	頭痛、めまいを初発床状としたFisher症候群	楠 進	神経内科
日本内科学会雑誌	炎症と末梢神経疾患(免疫性末梢神経障害について)	楠 進	神経内科
日本臨牀	自己免疫性ニューロパチーの新しい動物モデル	楠 進	神経内科
Clinical Neuroscience	アクアポリン抗体の特異性	宮本 勝一	神経内科
Bioch Biophys Acta	Antibodies against gangliosides and ganglioside complexes in Guillain-Barre syndrome: New aspects of research.	楠 進	神経内科
Future Lipidol	Ganglioside complexes as target antigens in Guillain-Barre syndrome and related disorders.	楠 進	神経内科
神経内科	脳幹脳炎の血清学的診断	上田 昌美	神経内科
日本内科学会雑誌	傍腫瘍性神経症候群 診断と治療の進歩、障害部位・病態による臨床病型 末梢神経の障害	三井 良之	神経内科
臨床神経学	末梢神経障害の研究—最新の進歩— 免疫関連性ニューロパチー	楠 進	神経内科
神経治療学	免疫関連療法の新しい展開:免疫グロブリン大量療法	楠 進	神経内科
第3の生命鎖、糖鎖の謎が今、解る	糖鎖に反応する抗体は神経を破壊する	楠 進	神経内科
Clin Cancer Res	Addition of S-1 to the epidermal growth factor receptor inhibitor gefitinib overcomes gefitinib resistance in non-small cell lung cancer cell lines with MET amplification.	Okabe T, Okamoto I, Nakagawa K. et al.	腫瘍内科
FEBS Lett.	The anti-EGFR monoclonal antibody blocks cisplatin-induced activation of EGFR signaling mediated by HB-EGF.	Yoshida T, Okamoto I, Nakagawa K. et al.	腫瘍内科
Clin Cancer Res	Radiosensitizing effect of YM155, a novel small-molecule survivin suppressant, in non-small cell lung cancer cell lines.	Iwasa T, Okamoto I, Nakagawa K et al.	腫瘍内科
J Thorac Oncol	Pharmacokinetic analysis of carboplatin and etoposide in a small cell lung cancer patient undergoing hemodialysis.	Takezawa K, Okamoto I, Fukuoka M, Nakagawa K.	腫瘍内科

計 15

Clin Cancer Res	Pharmacokinetic analysis of carboplatin and etoposide in a small cell lung cancer patient undergoing hemodialysis.	Okamoto I, Fukuoka M, Nakagawa K. et al.	腫瘍内科
Int J Cancer.	Matuzumab and cetuximab activate the epidermal growth factor receptor but fail to trigger downstream signaling by Akt or Erk.	Yoshida T, Okamoto I, Nakagawa K et al.	腫瘍内科
Jpn J Clin Oncol.	Efficacy and safety of pemetrexed in combination with cisplatin for malignant pleural mesothelioma: a phase I/II study in Japanese patients.	Nakagawa K, Saijo N, Fukuoka M. et al.	腫瘍内科
Int J Cancer.	SRPX2 is overexpressed in gastric cancer and promotes cellular migration and adhesion.	Tanaka K, Okamoto I, Nakagawa K. et al.	腫瘍内科
Clin Cancer Res	Autocrine production of amphiregulin predicts sensitivity to both gefitinib and cetuximab in EGFR wild-type cancers.	Yonesaka K, Zejnullahu K, et al.	腫瘍内科
Clin Cancer Res	Efficacy and safety of two doses of pemetrexed supplemented with folic acid and vitamin B12 in previously treated patients with non-small cell lung cancer.	Ohe Y, Nakagawa K, Saijo N, Fukuoka M. et al.	腫瘍内科
J Asthma 46:677-682.2009	The strategy for predicting exacerbation of asthma using a combination of the asthma control test and lung function test	Ryuji Sato	呼吸器・アレルギー内科
Clin Exp Immunol.154:295-304. 2008	Interleukin-18-deficient mice exhibit diminished chronic inflammation and airway remodelling in ovalbumin-induced asthma model.	Shigeyoshi Yamagata	呼吸器・アレルギー内科
Int Immunopharmacol. 2009 Aug in press	Inhaled montelukast inhibits cysteinyl-leukotriene-induced bronchoconstriction in ovalbumin-sensitized guinea-pigs: The potential as a new asthma medication.	Masato Muraki	呼吸器・アレルギー内科
Allergol Int. 57:339-46. 2008	Comparison of the Asthma Health Questionnaire-33-Japan and the short-form 36-item health survey for measuring quality of life in Japanese patients with asthma.	Masato Muraki	呼吸器・アレルギー内科
Int Immunopharmacol. 8:725-31.2008	Continued inhalation of lidocaine suppresses antigen-induced airway hyperreactivity and airway inflammation in ovalbumin-sensitized guinea pigs.	Masato Muraki	呼吸器・アレルギー内科
Rheumatol Int	Successful treatment using tacrolimus plus corticosteroid in patient with RA associated with MDS	Yuhi Nozaki	腎臓・膠原病内科
Clinical Immunology	Deletion of IL-18 receptor ameliorates renal injury in bovine serum albumin-induced glomerulonephritis	Masafumi Sugiyama	腎臓・膠原病内科
Am J Kidney Dis.	Successful Treatment With Retinoids in Patients With Lupus Nephritis.	Koji Kinoshita	腎臓・膠原病内科
Rheumatol Int.	Effects of bosentan on the skin lesions: an observational study from a single center in Japan.	Masahiro Funauchi	腎臓・膠原病内科

計 15

Med Sci Law.	Sudden death from ischaemic heart disease in a female patient with Sjogren syndrome: a case report	Koji Kinoshita	腎臓・膠原病内科
Rheumatol Int.	A case of adult onset Still's disease showing marked accumulation in the liver and spleen, on positron emission tomography-CT images.	Masahiro Funauchi	腎臓・膠原病内科
Neuropsychopharmacology	Association of RGS2 Gene Polymorphisms with Suicide and Increased RGS2 Immunoreactivity in the Postmortem Brain of Suicide Victims	Shirakawa O	精神神経科
Schizophr Res	Expression of Kruppel-like factor 5 gene in human brain and association of the gene with the susceptibility to schizophrenia	Shirakawa O	精神神経科
J Neural Transm	A functional polymorphism of the micro-opioid receptor gene is associated with completed suicides"	Shirakawa O	精神神経科
精神・神経疾患研究委託研究費 平成17年度～19年度総括研究報告書	感情障害治療における非定型抗精神病薬の有用性「脳画像解析と生物学的指標を用いた精神疾患の診断と治療効果の判定への応用に関する研究」	白川 治	精神神経科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	Association of α 2A-adrenergic receptor gene polymorphism with susceptibility to suicide in Japanese females	Shirakawa O	精神神経科
Kobe J Med Sci	Lack of association between the dopamine transporter gene 3' VNTR polymorphism and attention deficit hyperactivity disorder in Chinese Han children: case-control and family-based	Shirakawa O	精神神経科
Psychiatry Clin Neurosci	Differentiation between attention-deficit/hyperactivity disorder and pervasive developmental disorders with hyperactivity on objective activity levels using actigraphs	Tsuji N	精神神経科
精神科	発達障害における自殺企図	人見 佳枝	精神神経科
Pediatric International	Spontaneous closure of perimembranous ventricular septal defect after school age.	三宅 俊治	小児科
Clinical Nephrology	Association of INVS(NPHP2)mutation in an adolescent exhibiting nephronophthisis(NPH)and complete situs inversus.	岡田 満	小児科
Clinical Experimental Nephrology	Clinical manifestations and analyses of the cytotoxic T-lymphocyte associated-4 gene in two Japanese families with systemic lupus erythematosus.	杉本 圭相	小児科
第11回家族性腫瘍カウンセラー養成テキスト	大腸癌臨床 診断と治療	奥野 清隆	外科
消化器癌の外科治療 消化管 こんなときどうするかQ&A	大腸癌の外科治療	奥野 清隆	外科

計 15

消化器癌の外科治療 消化管 こんなときどうするかQ&A	直腸癌局所再発に対する治療	奥野 清隆	外科
消化器疾患最新の治療 2009-2010	結腸進行癌	奥野清隆	外科
Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 136(1) 205-212 2008/7	Lack of FDG Uptake in Post-treatment Positron Emission Tomography is a Significant Predictor of Survival after Subsequent Surgery in Multimodality treatment for Patients with Locally Advanced	Takushi Yasuda	外科
XXII Biennial Congress of the International Society of University Colon and Rectal	Survival benefit of pelvic exenteration for locally advanced colorectal cancer with lymph node metastases	Jin-ichi Hida	外科
脳神経外科	悪性リンパ腫におけるFluorescein術中傾向診断の有用性	奥田武司	脳神経外科
脳神経外科	責任血管が三叉新家を貫通する特発性三叉神経痛の微小血管減圧術	渡邊 啓	脳神経外科
Acta Medica Kinki University	Distorted depth perception under the microscope:compensation by surgical navigator and image projection	加藤天見	脳神経外科
Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery	Successful one-stage operation of aorto-esophageal fistula from thoracic aneurysm using a rifampicin-soaked synthetic graft.	Takehiro Inoue	Cardiovascular Surgery
体外循環技術	Closed Circuitを用いた体外循環の拡張性の追求	高田 裕	臨床工学部
循環器科	DeBakey I 型上行大動脈置換術後遠隔期に仮性大動脈瘤による溶血性貧血を発症し基部置換術および三尖弁置換術を行った1症例	藤井公輔	心臓血管外科
日本人工関節学会誌	MIS-TKAにおけるTKAシミュレーションソフトウェア 3Dテンプレートによる術前計画と術後評価	朝田滋貴	整形外科
臨床リウマチ	上腕骨遠位端骨折後高度な変形を有するRAに対してTEAを行った1例	大谷和裕	リハビリテーション医学
日手会誌	手指関節可動域訓練用ロボットの開発	大谷和裕	リハビリテーション医学
BMC Musculoskeletal Disord.	Isolation and characterization of side population stem cells in articular synovial tissue.	寺村岳士	高度先端総合医療センター(再生部門)
World J.Urol	Tumor vaccines in renal cell carcinoma	植村天受	泌尿器科

計 15

World J.Urol	腎細胞癌に対する免疫療法の新しい可能性	植村天受	泌尿器科
Urology View	Effect of carvedilol for ischemia/reperfusion-induced oxidative renal injury in rats	林 泰司	泌尿器科
Transplant.Proc.	眼の感染と免疫 ヘルペスの潜伏感染、再発、新治療法	下村 嘉一	眼科
日本眼科学会雑誌	A-5021: A New Acyclovir Analogue Inhibits Murine Herpetic Keratitis.	板橋 幹城	眼科
Cornea	オルソケラトロジーに対する意識調査	月山 純子	眼科
日本コンタクトレンズ学会誌	Case of bilateral multiple herpetic epithelial keratitis manifested as dendriform epithelial edema during primary kaposi's varicelliform eruption	檜垣 史郎	眼科
JAPANESE JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY	病期の異なる両眼性アcantアメーバ角膜炎の一例	渡邊 敬三	眼科
眼科臨床紀要	Occult macular dystrophyとして経過観察中に標的黃斑症をきたした1例	中尾 彰	眼科
眼科臨床紀要	両眼の鋸状縁断裂を伴う網膜剥離を認めた先天性無痛汗症の1例	野本 裕貴	眼科
眼科臨床紀要	内斜視で発見された福山型筋ジストロフィの1例	青松 圭一	眼科
臨床眼科	Osteo-Odonto-Keratoprosthesis in Japan	福田 昌彦	眼科
Cornea	Detectability of Glaucomatous Changes Using SAP, FDT, Flicker Perimetry, and OCT	野本 裕貴	眼科
J Glaucoma	外側咽頭後リンパ節郭清のための臨床解剖	森 一功	耳鼻咽喉科
JOHNS	咽喉頭異常感症と甲状腺疾患	森 一功	耳鼻咽喉科
ENTONI	Prominent ear sign on diffusion-weighted magnetic resonance imaging in relapsing polychondritis.	Kuwabara M	放射線科(放射線診断学部門)

計 15

Radiat Med	Quantitative evaluation of norcholesterol scintigraphy, CT attenuation value, and chemical-shift MR imaging for characterizing adrenal adenomas.	Yoh T	放射線科(放射線診断学部門)
Ann Nucl Med	T2*-sensitized High-resolution Magnetic Resonance Venography Using 3D-PRESTO Technique.	Tsuboyama T	放射線科(放射線診断学部門)
Magn Reson Med Sci	Comparison between one-route and two-route injection for liver and aortic enhancement using MDCT.	Okada M	放射線科(放射線診断学部門)
Am J Roentgenol	Discordance of motion artifacts on magnetic resonance imaging in Creutzfeldt-Jakob disease: comparison of diffusion-weighted and conventional imaging sequences.	Shimono T	放射線科(放射線診断学部門)
Radiat Med	Concurrent chemoradiotherapy for esophageal cancer with malignant fistula.	Koike R	Dept. of Radiation Oncology, Kinki Univ. School of Medicine
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Treatment outcomes and dose-volume histogram analysis of simultaneous integrated boost method for malignant gliomas using intensity modulated radiotherapy	Nakamatsu K	Dept. of Radiation Oncology, Kinki Univ. School of Medicine
Int J Clin Oncol	Efficacy of novel hypoxic cell sensitizer doranidazole in the treatment of locally advanced pancreatic cancer: long-term results of a placebo-controlled randomized study	Nishimura Y	Dept. of Radiation Oncology, Kinki Univ. School of Medicine
Radiother Oncol	Quantitative evaluation of norcholesterol scintigraphy, CT attenuation value, and chemical-shift MR imaging for characterizing adrenal adenomas	Nishimura Y	Dept. of Radiation Oncology, Kinki Univ. School of Medicine
Ann Nucl Med	Static and moving phantom studies for radiation treatment planning in a positron emission tomography and computed tomography (PET/CT) system	Okubo M	Dept. of Radiation Oncology, Kinki Univ. School of Medicine
Ann Nucl Med	IL12RB2 and ABCA1 genes are associated with susceptibility to radiation dermatitis	Nishimura Y	Dept. of Radiation Oncology, Kinki Univ. School of Medicine
Clin Cancer Res	The effect of Sub-MAC anesthesia and the radiation setting on repeated tail flick testing in rats.	高杉 嘉弘	麻醉科学教室
Exp Anim. 2008;57(1):65-72.	Hypersensitivity caused by suppression of descending inhibitory pathways following lumbar intrathecal injection of lidocaine in rats.	冬田 昌樹	麻醉科学教室
Acta Med. Kinki Univ, 2008;33(1-2):47-54.	PDE3阻害薬およびコルホルシンダロパートが低酸素性肺血管収縮反応に及ぼす影響.	鎌本 洋通	麻醉科学教室
麻醉2008; 57(11):1398-1407.	Cytokine-rich autologous serum system for cartilaginous tissue engineering	磯貝 典孝	形成外科
Annals of Plastic Surgery	Long-term treatment of a girl with severe facial injury caused by a car accident	朝村 真一	形成外科

計 15

J Plast Reconstr Aesthet Surg.	Tissue engineering a model for the human ear: Assessment of size, shape, morphology, gene expression and biomechanical flexibility index following seeding of different chondrocytes	楠原 廣久	形成外科
Wound Repair and Regeneration	食道癌術後の難治性食道瘻に対する大胸筋皮弁の有用性	松永 和秀	形成外科
日本外科系連合学会誌	切断指再接着術	楠原 廣久	形成外科
形成外科	高度下眼瞼外反症の手術経験	朝村 真一	形成外科
日本外科系連合学会誌	眼窩底骨折32例の臨床的検討	朝村 真一	形成外科
頭蓋顔面外科学会誌	慢性創傷、下腿潰瘍、血管性下腿潰瘍:動脈性虚血性下腿潰瘍の治療	山下 建	形成外科
形成外科	顔面神経側頭枝損傷をきたした女性症例の治療経験	松永 和秀	形成外科
日本外科系連合学会誌	顔面外傷治療後上口唇変形をきたした1例に対する治療経験	松永 和秀	形成外科
日本外科系連合学会誌	Swallowing Function in Patients who Underwent Hemiglossectomy and Reconstruction with a Pectoralis Major Myocutaneous Flap	松永 和秀	形成外科
日本外科系連合学会誌	天然高分子(フィブリン)と合成高分子(PGA)の複合化技術を導入した自家移植モデルにおける軟骨再生	和田 充弘	形成外科
近畿大学医学雑誌	骨誘導型生分解性三次元高分子を用いて再生誘導したヒト指骨モデルにおける骨膜の役割	徳井 琢	形成外科
近畿大学医学雑誌	Mouse androgenetic embryonic stem cells differentiated to multiple cell lineages in three embryonic germ layers in vitro	寺村 岳士	高度先端総合医療センター(再生部門)
Journal of Reproduction and Development	Isolation and characterization of side population stem cells in articular synovial tissue	寺村 岳士	高度先端総合医療センター(再生部門)
Eur. J Immunol	Influenza A virus abrogates IFN-gamma response in respiratory epithelial cells by disruption of Jak/Stat pathway.	上裕 俊法	臨床検査医学
Toxicol Appl Pharmacol	Coordinated induction of Nrf2 target genes protects against iron nitrilotriacetate (FeNTA)-induced nephrotoxicity.	田中 裕滋	臨床検査医学

計 15

FEBS Journal	Molecular basis of actin reorganization promoted by binding of enterohaemorrhagic Escherichia coli EspB to α -catenin	Mitsuhide Hamaguchi	救急医学
Hypertens Res. 2008 May;31(5):825-31.	Plasma adiponectin is associated with plasma brain natriuretic peptide and cardiac function in healthy subjects.	浅沼 博司	ER部
J Am Coll Cardiol. 2009 Feb24;53(8):709-17.	Prolonged targeting of ischemic/reperfused myocardium by liposomal adenosine augments cardioprotection in rats.	浅沼 博司	ER部

計 15

合計 140 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 工藤 正俊
管理担当者氏名	病院事務部長 大倉 健一

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療連携課 診療情報管理課	現在電子カルテ、フィルムレス化（一部を除く）の運用を行っている。従来の紙カルテは外来カルテ（フィルム）が1患者1フォルダー保管、入院カルテは1患者1カルテで保管し、集中管理している。紙カルテは外来・入院共に二次資料として、順次電子保存（デジタル化）している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	職員課	/
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	医事課	
	閲覧実績	診療情報管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
確規保則の第9条の2及び第1条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	/
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療相談・安全管理課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 工藤 正俊
閲覧担当者氏名	病院事務部長 大倉 健一
閲覧の求めに応じる場所	相談室 閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	65.2%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		18,397人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,518人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		653人
	D：初診の患者の数		35,903人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (13) 名 ・ 活動の主な内容：添付資料 「 1 」 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 総則 2. 安全管理委員会 3. 安全管理部 4. リスクマネージャー 5. 報告等にもとづく医療に係る安全確保を目的として改善方策 6. 安全管理のためのマニュアル整備 7. 医療安全管理のための研修 8. 事故発生時の対応 9. 患者相談窓口 10. その他 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 4 0 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理部の報告を受け、医療安全管理の検討及び研究に関すること 2. 医療事故の分析及び再発防止策の検討並びに委員会によって立案された防止対策及び改善策の実施状況の調査及び見直しに関すること 3. 医療安全管理のために行う職員に対する指示に関すること 4. 医療安全管理のために行う院長等に対する提言に関すること 5. 医療安全管理のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6. 医療訴訟に関すること 7. その他医療安全に関すること 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：添付資料 「 2 」 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：リスクマネージャー会議等を通じて全職員へ周知、院内 LAN に掲載し周知を図り改善策の徹底を図っている。安全管理研修参加状況の個人識別化 	

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

③医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 活動の主な内容

(業務)

第 4 条 医療安全対策室においては、次の各号にあげる業務を行う。

(2) 医療安全に関する日常活動に関すること。

1. 定期的に医療安全対策室会議を開催し、必要事項を管理委員会に勧告する。
2. 医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査。
3. 定期的な現場の巡回・点検、マニュアルの遵守状況の点検
4. マニュアルの作成及び点検並びに見直しの提言等
5. アクシデント・インシデントレポートの収集、保管、分析、分析結果などの現場へのフィードバックと集計結果の管理、具体的な改善策の提案・推進とその評価
6. 医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知
7. 医療安全に関する職員への啓発、広報
8. 医療安全に関する職員研修の企画、立案、運営
9. 医療安全対策ネットワーク整備事業に関する報告、とりわけ「軽微な処置・治療を要した事例または影響の認められなかった事例のなかで警鐘的意義が大きいと医療機関が考える事例」の選定
10. 必要に応じてリスクマネージャー会議を招集する。
11. 医療安全管理に係る連絡調整

医療安全管理研修実施状況（平成20年度実績） 実績

資料 2

	開催年月日	研 修 テ ー マ	参加者数	DVD	備 考
1	H20年4月25日	第7回狭山危機管理セミナー 「インフォ-ムド・コメント」—説明要件と説明文書を中心に—	689		
2	H20年5月21日・27日	第7回狭山危機管理セミナー DVD研修	374		
3	H20年6月19日	安全管理研修 ” こうして防ぐ医事紛争” —病院内での患者死亡時の考え方—	744		
4	H20年7月3日・4日・9日	医療ガス及び器具の安全点検講習会 医療ガス及び器具の安全点検について 吸引器取り扱い説明	343		
5	H20年9月25日	安全管理研修 医療安全対策室年次報告	616	242	
6	H20年12月18日	医薬品に関する研修会 ・病棟、外来部門 薬品管理マニュアルについて ・麻薬に関して ・注射薬のミキシングについて	387		
7	H21年1月16日	安全管理研修 医療訴訟ガイダンス	525		
8	H21年3月3日	安全管理研修 個人情報と遺伝性疾患	367		
	計			4287	

その他研修

H20年10月24日・30日	医療機器安全管理研修 院内AED設置及びAED・BLS講習会	347
H20年11月20日・26日	医療機器安全管理研修 人工呼吸器	250
H20年11月11日	医療安全出前講習会（医師対象）	23

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	①・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染防止対策に関する基本的考え方 2. 院内感染防止対策の組織の概要 3. 感染防止対策に関する職員研修 4. 感染症発症状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発症時の対応に関する基本方針 6. 患者等への情報提供と説明 7. その他の院内感染防止対策 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染防止対策の指針およびマニュアルの作成と改訂 2. 院内感染防止対策に関する情報の収集と職員への周知 3. 院内感染防止に関する職員研修の企画 4. 院内感染が疑われる事例等の原因究明結果と対策を職員に周知する 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 9回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 添付資料「3」 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： I C Tニュース、院内防止感染対策委員会、研修での感染対策防止に関する臨時情報提供により再発防止を図る 	

院内感染防止対策研修実施状況（平成20年度実績）

資料3

感染対策研修実施状況（平成20年度実績）実績

	開催年月日	研 修 テ ー マ	参加者数	備 考
1	H20年4月21日	第1回 近大感染制御セミナー 「感染対策(接触感染)について」 「感染対策とMDRPについて」	707	
2	H20年5月15日	第2回 近大感染制御セミナー 「中央滅菌材料部における感染対策」 「感染対策(接触感染)について、その2)」 「標準予防策の重要性と血流感染予防策」	690	
3	H20年6月16日	第3回 近大感染制御セミナー 「当院における「針刺し等汚染事故の実態」 「HIV感染症と針刺し」	687	
4	H20年7月18日	第4回 近大感染制御セミナー 「緑膿菌の同種細胞数感知システムについて」 「市中肺炎・院内肺炎の治療実例と当科におけるこの5年間の抗菌薬投与内容の変化」	428	
5	H20年9月20日	第5回 近大感染制御セミナー 「当院の耐性菌分離状況」 「術後感染症と術後合併症としての感染症」	175	
6	H20年10月10日	第8回 近大感染制御セミナー特別講演会 県西部浜松医療センター 副院長兼感染症科科长 矢野邦夫先生 「院内感染対策の最新情報」	594	
7	H20年11月14日	第7回 近大感染制御セミナー 「医療廃棄物について」 「ワードオーディットを使用した病棟ラウンド」 「感染と栄養の関係」	529	
8	H21年1月15日	第8回 近大感染制御セミナー 「インフルエンザ、ノロウイルス、結核対策など院内感染で重要な感染経路別予防策とは」	542	
9	H21年2月16日	第9回 近大感染制御セミナー特別講演会 大阪大学医学部附属病院 感染制御部副部長 浅利誠志 先生 「感染対策知らずして病院で働くなかれ～効果的な職員教育方法: SFTD-KYK～」	430	
		「手指洗浄・消毒、標準予防策について」 DVD研修(医師対象)	291	
	計		5073	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：病棟・外来・各部門における薬品管理について 麻薬の取扱いに関して 注射薬のミキシングについて 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (○・無) ・ 業務の主な内容：病棟および外来におけるストック薬品の管理等 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 薬剤情報の協力のもと、特に取扱いを要するハイリスク薬のリスト表の配布や表示および薬剤情報誌を通して高齢者に対して薬の使用の注意などの情報を伝えている。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○・無
④ 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年15回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容：輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱いなど、BEER1000説明会、PCPS講習会、人工呼吸器研修＋加温加湿療法、透析用監視装置DCS-26、DC講習会、医療機器安全管理研修（人工心肺）、NICU人工呼吸器研修（新生児領域）、新生児領域におけるリスクマネジメント、透析用監視装置DCS-26、人工呼吸器研修、除細動器研修、人工心肺安全管理研修、ME機器研修、除細動器研修、保育器の使用方法和管理方法 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 計画の策定 (○・無) 保守点検の主な内容：外観点検・機能点検・精度確認・消耗品交換など。一部、修理業を有した修理業者に外注委託。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る情報の収集の整備 (○・無) その他の改善のための方策の主な内容：医薬品・医療機器総合機構からの自動配信を受信。Webを利用した臨床工学部で作成した統一された点検マニュアルなどの配信。新規導入機器のカタログ及び添付文書などのWeb閲覧など医療機器に関わる病院環境を調査し、医療機器の使用にあたり適切な設備環境を整える。 	